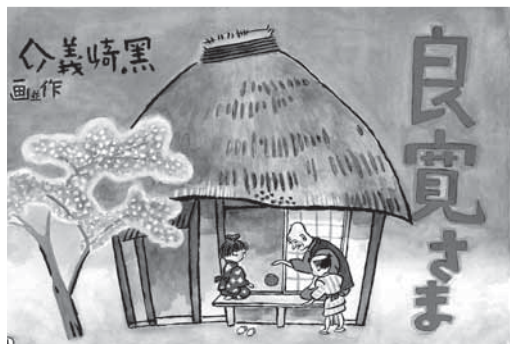


にいがた

新潟県立図書館報

contents

- ・インフォメーション 1
- ・新潟県立図書館の暑い夏
平成21年夏、県立図書館を
熱くさせた三つのできごと 2
- ・図書館バックヤード
「ギャラリー貸します」 4



複製紙芝居「良寛さま」
(黒崎義介／作画 良寛クラブ南魚沼) より



information

◎ 暮らし応援講座「酒とワインが奏でるNiigata交響曲」を開催します。

日本酒とワインを世界に発信しようと新潟の醸造界で活躍するお二人による楽しいトークショーです。受講は無料ですが、事前の申し込み(定員180名)が必要です。詳しくは、県立図書館ホームページまたは県立図書館業務第1課までお問い合わせください。

日時	10月10日(土) 午後1:30より
場所	県立図書館ホール カーブドッチ 落 希一郎氏 × 佐渡・尾畑酒造 尾畑留美子氏

★関連イベント★

11月より、尾畑留美子さんによる「やさしい日本酒サロン」(全3回予定)を開催します。日本酒はもちろんのこと、お酒に関する様々なテーマでお送りします。

第1回「はじめましての日本酒と簡単おつまみ」

11月12日(木) 13:30～15:00 大研修室(定員50名)

◎ ふるさとの本を楽しむ講座「ほっとする良寛さん」を開催します。

新潟大学名誉教授・良寛研究所所長の加藤僊一先生を講師にお迎えし、「ほっとする良寛さん」と題してお話をうかがいます。お話の中で、著書『ほっとする良寛さんの般若心経』などを紹介の予定です。

日時	11月14日(土) 午後1:30より
場所	県立図書館ホール

受講は無料ですが、事前の申し込み(定員180名)が必要です。詳しくは、県立図書館ホームページまたは県立図書館業務第2課までお問い合わせください。

◎ 「世界とアジアを旅する講座 魅力を再発見！」(全4回)を開催します。

県庁の国際交流員を講師に迎え、親しみやすいテーマを切り口に自国の文化や風習をご紹介します。初回は、韓国の金美利秀(キム ミリス)さんに「韓流ドラマにみられる韓国文化」と題してお話しいたします。受講は無料ですが、事前の申し込み(定員50名)が必要です。詳しくは、県立図書館ホームページまたは県立図書館業務第2課までお問い合わせください。

日時	11月28日(土) 午後1:30より
場所	県立図書館大研修室

※2回目以降の予定はホームページやチラシ等でお知らせいたします。ご期待ください。

新潟県立図書館の熱い夏

あまり暑くもなかった夏が終わりました。「夏のにぎわいはどこへ消えた?」

というほどではありませんが、9月の声を聞いたとたん、県立図書館の閲覧室は「

ころなしにかさびしくなりました。とはいえ、9月の一泊あたりの入館者数は、平均で約1,400人です。何しろこの夏は、昨年度同時期に比べ、約1.5倍の入館者増でしたし、

2,000人を超す日も何日かあって、こたがえしていました。ついつい8月の一日平均

均1,553人と比べてしまい、そう感じるのかもしれない。それとも夏休みが終わわり、

「じもたちの元気な姿が少なくなつたせいなのではないか。」

「◎書庫の一般利用を実施します。」「◎この夏、「こども図書室」が大変身!」いずれも本紙前号41号インフォメーションの予告広告です。この二つに、「くらしガーデ

ン拡張リニューアル」を加え、平成21年夏に県立図書館で起こった、県立図書館

の夏を熱くさせた三つのできごとを綴ってみました。

(業務第1課長・菊池敏雄)

平成21年夏、
県立図書館を熱くさせた
三つのできごと

扉が開いた日



7月24日(金)、午前11時、県立図書館の共同研究室は熱気に包まれていました。この日から開始される書庫公開のオープニングセレモニーが開催されたのです。

セレモニーには、新潟県教育委員会・武藤教育長、県立図書館友の会会長の新潟日報

高橋社長、県立図書館協議会・田村委員長など多数の来賓と、新たに募集した書庫ボランティアに応募された方々が出席されました。会では来賓の方や館長が次々と挨拶を飛ばし、ボランティアの決意表明が続く、といった具合で、まるで総決起集会の様を呈しました。

22日の『新潟日報』記事「県立図書館書庫の閲覧OK・新たに41万冊公開」から一部を抜粋すると、「1915年に開館した同館の蔵書は70万冊。このうち閲覧室で一般公開しているのは約13万冊にと

どまる。これまで書庫は資料保存のために立ち入りを制限し、職員が利用者の求めに応じて蔵書を探し出していた。公開により、利用者が直接探せるようになる。古文書など貴重な資料を除き、約41万冊を収めたスペースが自由に閲覧できるようになる。」と書かれています。

書庫全部を公開の対象としたわけではありません。貴重資料や保存が重視される古い郷土資料や自然科学分野の図書、雑誌などは対象外とし、いわゆる人文科学、社会科学の分野を対象としました。主

な通路を「史学通り」「政経通り」「芸術通り」「文学通り」「全集通り」と命名し、看板を立てることで、NDCという図書館の分類記号が分からなくても、容易に資料が探せるように工夫しました。

全国には3,000を超える公立図書館がありますが、書庫を公開している図書館は多くありません。私たちは書庫の公開というより、「閲覧室を拡張し、54万冊の閲覧室を作る」という意識で新たな試みに取り組んできました。

オープン時刻である正午少し前には、20名ほどの行列ができました。初日の利用者70名は、順調なすべりだったと思います。7、8月には一日平均で80名弱の入室者がありました。9月に入り、少し減少してはいますが、日誌を見ると少ない日でも50名前後の方が利用されています。

忘れてならないのが、ボランティアの皆さんのご協力です。6月末よりご協力の呼びかけをしたところ、7月17日の説明会の時点で32名の方がご応募くださいました。9月15日現在では50名に達してい

ボランティアあつての



公開書庫の入り口付近。ボランティアの方が広い書庫の中を見守ります。

ます。平日、土・日・祝日も、午前、午後、各1〜2名のクルーでお願いしています。活動の内容は、入口付近のデスクでの入室の確認や利用者の案内、書庫の巡回等です。ボランティアの方ご自身も楽しんでご利用くださいとお話しています。

日誌には、気づいたことや感じたことを書いていただいています。学生さんから現職をリタイアされた方まで、様々の方がいらつしやいます。ボランティアの方々のおかげであつて初めて実現した大事業です。紙上をお借りして、篤く御礼申し上げます。

県立図書館の書庫には空調設備がありませんので、夏暑く冬寒いのは当たり前なのですが、今年の夏は一層暑く感じました。開かずの扉が開いた日、新潟地方気象台発表の新潟市の最高気温は30・3

度。書庫内の気温をそれ以上に高く感じたのは私だけでしょうか。

リニューアルの日



書庫公開に先立つこと1週間前の7月18日(土)も忘れられない夏の一日です。くらしガーデンがリニューアルオープンしたのです。ただのリニューアルではなく、面積をエントランスホール側に約100㎡、1.5倍に拡張してのリニューアルオープンでした。



くらしガーデンのエントランス側拡張部分。天然木のカウンターテーブルがスタイリッシュ。

くらしガーデンは、昨年12月16日、従来のくらしコーナーから分離・独立し誕生した、くらしに身近な、料理、ガーデニング、健康などの資料を揃えたコーナーです。一角に貸出できるこども向けの

絵本を置いてあったり、若者向けのユースコーナーが隣接していることもあり、こどもたち、中高生から中高年の人々まで、世代を超えた人気スペースとして定着してきました。以前はあまり見かけなかったカップルやベビーカーを引いた若いお母さんの姿も、しばしば見かけるようになってきました。

蔵書点検中のリニューアル工事で拡張したスペースには、天然木で作られたカウンター、椅子、ベンチなどを配置し、いっそうお洒落なコーナーとして生まれ変わったのです。

閲覧室側の旧来からのスペースには、以前から配架していた貸出のできる絵本1,300冊に、児童書約1,000冊を新たに加えました。同じく昨年度末より提供を始めたCDは1,300点に増やしました。子育ての資料を重点に、恋愛・結婚、マナー、手芸などにもテーマを広げました。

新たに拡張したエントランス側のスペースには、女性雑誌に加え外国語の雑誌、アロマテラピーやファミリーレジャーの本、旅行ガイドなどを並べ、新着図書コーナーもこちらに移動しました。「くつ

ろぎテラス」として、ペットボトル、マイボトルの持ち込みができる場所も設けました。

まるで書店のよう



イメージしたのは書店の店頭のレイアウトです。新たな利用者層として増加を期待したのが女性層、とりわけ若い母親層です。人気のある書店のように、普通の人たちが普通に立ち寄れて、普通に利用できることを目指したわけです。4月に開店したライブラリーカフェ「Miccoco(ミチココ)」が、地域の人気スポットとして定着してきていることもプラス要素でした。

オープンの日には以前の2倍の約4,000冊を用意しましたが、子育て、料理などの売れ筋の図書については、たちまち書架が空になり、在庫補充が追いつかない、という事態となりました。現在、一日平均200名以上が立ち寄り、100冊以上が借りられるという超人気のコーナーとなっています。4月から7月までの4ヶ月の総貸出冊数は、一万冊に届く勢いでした。回転率2.5冊は驚異的な数値です。

数値もさることながら、一番変わったのは、「光景」です。



くらしガーデンの一角にある絵本コーナーには楽しそうに絵本を読む親子の姿が。

従来より、多世代がゆるやかに共存しているという光景が見られたのですが、それはそのままに、子育て世代、とりわけ若い母親と就学前の幼いこどもの姿が新しい光景として加わりました。まるで公園デビューをするように図書館デビューをする、そして昨日までは見知らぬお母さんと、子育てのことや小さいこどもの本の会話をしている、といったことがあるようなのです。

幼いこどもは絵本を見ている、お母さんは子育ての本をめくっている、お父さんは「第2のオフィス」コーナーでビジネス書を探している。郊外型の大型書店でも見かけないようなアットホームな光景が、このごろの県立図書館で普通に見られるようになったのです。

酒とワインが奏でる



オープンから少し日が経ってしまいましたが、10月10日には、コーナー関連イベント「くらし応援講座」として、「酒とワインが奏でるZingst交響曲」を開催します。カーブドッチ社長の落希一郎氏と佐渡・尾畑酒造専務の尾畑留美子氏お二人による、「日本酒とワイン―地酒王国・新潟の醸造界より二人のエースが語る酒とワインの楽しいトークショー!」です。尾畑さんには、11月と12月にも、「やさしい日本酒サロン」をお願いしています。

このような、付加価値を付けるサービスの提供で図書館の利用を定着させたい、人材的な繋がりを作ることで一層のサービス向上に役立てたい、という意識と戦略で、日々取り組んでいます。これからもイベントが目白押しで、夏が終わり、秋が過ぎても、「秋止符」というわけにはいかないようです。

絵本のおねえさん



オープンから1週間後の7月25日(土)、リニューアル記念イベントとして、昨年夏



こども図書室の「絵本のおねえさん」。読み
きかせの前には、手あそびで楽しみます。

に引き続き、長岡市千蔵院住職の諸橋精光氏に「超大型紙芝居」の実演を再びお願いし、超満員の186名が堪能しました。また、貴重な原画をお借りし、7月18日より8月16日まで絵本原画展を開催しました。

くらしガーデンの一角に貸出できる絵本や読み物を配架してあることは前にも述べましたが、絵本を中心に利用が定着し、貸出数も増加しています。これまでと一番違うのは、こども図書室に、こども読書活動専門員2名が配置されたことでしょう。7月1日より12月までの6ヶ月間の平日ですが、厚生労働省の事業でNPO法人に委託することができました。親しみやすいように、「絵本のおねえさん」と通称することになっています。

絵本のおねえさんは、8月中、「大型絵本読み聞かせ」を4回やってくれました。11日の良寛クラブ南魚沼から寄贈いただいた紙芝居での「良寛紙芝居読み聞かせ」は、60名近い親子づれが楽しみました。イベントのないときでも、頼まれればお話をしてくれれます。これまで平日は無人だったので、来館するこどもたちにもお父さん、お母さんたちにもたいへん喜ばれています。

8月19日から4回実施した、県庁で国際交流の仕事をしているアメリカ出身の国際交流員、カトリナさんの「英語絵本読み聞かせ」も大好評で、延べ200人の参加がありました。

20名のボランティアの方には、お忙しいはずの土・日・祝日にご都合を付けていただいております。感謝にたえません。

現在、こども図書室に配架してある資料は、貸出のできない資料だけです。これらの本を、ご自宅でゆっくり楽しんでいただきたいということで、只今貸出について検討中です。こども読書専門員の方にもお手伝いいただいて作業を開始したところです。



充実の県立図書館



「書庫も公開 充実の県立図書館」。8月1日の『新潟日報』投書欄に、ある利用者の方が寄せてくださった記事のタイトルです。書庫公開を評価してくださったうえに、「同館はレアウトなどに工夫を凝らし、利用者がより利用しやすくなっている。例えば、閲覧室が広くなり、ゲーディングなど各種コーナーも魅力的だ。こども図書室も常設となった。本好きを満足させ、あるいは本好きにさせる企画やイベントも豊富だ。一度足を運ばれてはいかがだろうか。」と賛辞を頂戴いたしました。勝手ながらこちらの文章をお借りし、平成21年夏に新潟県立図書館を熱くさせた三つのできごとについての報告を締めくくらせていただきます。



閲覧室内オアシスコーナーから県立鳥屋野
潟公園を臨む。春は桜、秋は紅葉が美しい。

◎ 図書館バックヤード ◎

- ・この夏、県立図書館のエントランスホールに小さなアートギャラリーが誕生しました。
- ・この小さなスペースは、貸ギャラリーとして利用者みなさんにも利用していただくことができます。個展やグループ展などの作品発表の場にいかがでしょうか？
- ・ご利用の申込みは県立図書館企画協力課で受け付けています。どうぞ気軽にお問い合わせください。(S)



ギャラリーではさまざまなアート作品が展示されています。

にいがた—新潟県立図書館報— 第42号
平成21年 9月30日
編集 新潟県立図書館館報編集委員会
発行 新潟県立図書館
〒950-8602 新潟市中央区女池南3-1-2
TEL 025-284-6001 FAX 025-284-6832
URL <http://www.pref-lib.niigata.niigata.jp>